

# 令和7年度 自己評価

幼保連携型認定こども園長坂保育園

〈評価方法〉 5:十分達成されている 4:達成されている 3:どちらでもない 2:取り組まれているが十分ではない 1:取組が不十分である

	評価項目	評価
1	法人の理念、教育保育目標に基づき、全体的な計画を作成している	⑤ 4・3・2・1
コメント	法人の理念、教育保育目標に基づき計画を作成している。	
2	園や社会の状況を踏まえた教育・保育目標等が設定されている	⑤ 4・3・2・1
コメント	園の目標を基本として、毎月の目標は社会の状況や季節の変化などを踏まえ、設定している。	
3	園の教育課程の編成・実施にあたり、前年度の反省を活かし職員間の共通理解がなされている	5・④・3・2・1
コメント	毎月、会議やミーティング等で反省を行い、年間反省では全体で話し合っている。話し合いに参加しなかった職員へは会議録を回覧し、個別に伝えていたが、認識に差があったので、会議に参加しなかった職員は後日集まり、内容を聞き共通理解を図るようにしていく。	
4	幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、個々の職員が理解している	5・④・3・2・1
コメント	理解しようと務めているが個々の理解に差があるので、園内研修などで勉強する機会を増やしていきたい。	
5	職員がそれぞれの全体的立場を理解し、協力しながら職務を遂行している	⑤ 4・3・2・1
コメント	それぞれの立場に沿った職務を分担しながら行っている。一人一人の職員が職務に責任を持ち、他の職員とも協力し行っていきたい。	
6	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った乳幼児の発達に即した、指導計画の立案と、指導がなされている	⑤ 4・3・2・1
コメント	ルクミーを活用しながら、0・1・2歳児は毎月「発達記録」と「子どもの成長と過程」を記録している。3歳以上児は定期的に発達記録チェックをし、年3回個人目標を立てている。配慮の必要な園児の個別支援計画を立てている。	
7	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	⑤ 4・3・2・1
コメント	それぞれの行事に対し、ねらいや計画を立て実施し、行事後はねらいの達成状況や反省を行い、全体を振り返っている。	
8	乳幼児の病気やけが等の情報提供(国、県、市からの情報)が行われているか	⑤ 4・3・2・1
コメント	職員へは回覧や会議、園内研修などを通して周知し、保護者へはポスターを張り周知できるよう取り組んでいいる。	
9	日常の健康観察や疾病予防のための取組、健康診断が実施されているか	⑤ 4・3・2・1
コメント	毎日、健康観察や視診を行い変化が見られた時は保護者と連携している。年に2回ずつ小児科健診と歯科健診を実施。疾病予防の為に玩具の消毒をこまめに行い、掃除を徹底していきたい。	
10	避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされている	⑤ 4・3・2・1
コメント	毎月地震や災害に備えた避難訓練を実施している。時間や集まる場所を変えながら取り組んでいる。	
11	特別な支援が必要な園児のために関係施設等との交流が図られている	⑤ 4・3・2・1
コメント	配慮を必要とする園児の個人の記録を作成し、配慮しながら保育を進めている。個別の支援計画を立て、嘱託医に相談をしたり療育施設の訪問支援を受けるなど、連携しながら個別の対応などを行っている。	
12	園と医療・福祉などの関係機関との連携がなされている	⑤ 4・3・2・1
コメント	嘱託医や市の関係機関、療育施設と連携しながら取り組んでいる。	
13	職員会議、ケース会議、園内研修等が定期的に行われている	⑤ 4・3・2・1
コメント	毎月職員会議、保育ミーティング、チームミーティング、園内研修を行っている。	

14	実習生やボランティア、中高生の職場体験等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体勢を確立している	⑤ 4・3・2・1
コメント	マニュアルがあり、計画を立て職員に周知し、担当者も決められている。 (今年度は実習生1名(仙台大学)、大学生ボランティア1名(6日間)、が来た)	
15	認定こども園の役割を果たすために必要な地域の関係機関の情報を収集し、連携した取り組みを行っている	⑤ 4・3・2・1
コメント	変更や情報があった場合は会議等で伝達し、共有している。小学校や地域の手紙等も回覧し、情報を共有している。	
16	自己評価が行われ、職員の資質の向上が図られている	5・④・3・2・1
コメント	毎日、それぞれのクラスで立てた計画に対し反省や自己評価を行っている。年間を通した個人やチームでの自己評価も行っている。日々の自己評価を活用しながら、資質向上に繋がるようにしていきたい。	
17	家庭の状況や保護者との情報交換を行い、必要に応じて内容が記録されている	⑤ 4・3・2・1
コメント	参加日の懇談会ではアンケートを取り、家庭での情報を聞きまとめた物を保護者の方にも渡し情報を共有している。相談をされた際には、相談記録を作成し、個人面談を行った際にも記録をしている。	
18	子育ての支援(延長保育、一時預かり等)が行われている	⑤ 4・3・2・1
コメント	延長保育、一時預かり、地域子育て支援広場等が行われている。	
19	情報提供(園だより、HP、感染症等)にあたって、分かりやすく伝える工夫や配慮を行っている	⑤ 4・3・2・1
コメント	園だより等のお便りは配布し、HPやルクミーにも載せている。毎日給食の様子をHPで伝え、感染症についても、玄関のボードとHPで伝えている。ルクミーを見る習慣がない保護者もいるので周知していく。	
20	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている また保護者、地域住民の参画及び協力が行われている	⑤ 4・3・2・1
コメント	根城地域のあいさつ運動やごみゼロ運動などに参加している。年長が史跡根城まつりなどにも参加した。	
21	小学校及び園児、保護者と連携した取り組みを行っている	⑤ 4・3・2・1
コメント	年長児が根城小学校の音楽会や江南小学校の運動会の見学に行った。職員が小学校の参観日に参加し、幼保小連絡会議に参加している。今年度は根城小学校(5名)、江南小学校(3名)の先生方が8月に園を見学し、情報交換や話し合う機会があった。	
22	健診の結果について、保護者や職員に伝達しそれを教育・保育に反映している	5・④・3・2・1
コメント	結果を保護者に伝えている。嘱託医からのアドバイスなど、職員間で共有し保護者へも伝えている。今年度アプリ上で伝えた事で、保護者が確認しなかったようなので、来年度は健診欄ではなく連絡帳で送信し紙でも配布していく。	
23	遊具、玩具、絵本等が活用しやすいように整理・保管・整備されている	5・④・3・2・1
コメント	それぞれのコーナーで担当が決められ、定期的に見直しを行っている。年間の計画をたて、園内研修の中でコーナーの見直しを定期的に行った。0・1歳児クラスは園児の様子などに合わせて、もっとこまめな見直しを行っていきたい。	
24	調理場、水周り等の衛生管理がマニュアルに基づいて適切に実施されている	5・4・③・2・1
コメント	マニュアルがあり、毎日掃除を行い清潔に保てるよう心掛けている。トイレの手洗い場など、使う頻度の多い場所は汚れてしまう事が多いので、確認手順など職員間で共有し、衛生を保てるようにしていきたい。	
25	事故防止に向けた具体的な取り組みを行っているか	⑤ 4・3・2・1
コメント	けが記録簿をつけ、毎月職員会議で話し合いの場を設けている。ヒヤリハットがあった際は朝礼で伝え、職員で共有している。毎月園内外の安全点検チェックを行い、事故防止委員が散歩コースの確認を毎月行い、危険箇所を回覧し会議でも伝え情報を共有している。	
26	危機管理に対するマニュアルがあり、全職員に周知されている	5・④・3・2・1
コメント	マニュアルがあり、回覧や園内研修などで定期的確認を行っている。マニュアルの見直し改良を行っているため、完成したら園内研修で再度確認を行い、回覧して共有していく。	

## (改善できる点や改善方法)

### <全体>

- ・ルクミーでの連絡が、園児の活動時間中や夕方、前日などに来ていて、確認ができていない事があった。連絡可能な時間を保護者の方へも伝え、クラスだより等へも記載して、確認漏れのないようにしていく。
- ・各マニュアルの確認をチームミーティングの中で行ったが、話す内容がチームで異なることがあったので、事前にリーダー同士で確認し、統一していく。
- ・棚の上など整理整頓が行き届かない事があったので、月のサブの職員が朝やあいている時間に片付けるようにしていく。

### <0歳児>

- ・コーナーの見直しをもっとこまめに行うべきだった。発達や月齢に合わせた片付け方の工夫や、遊びがマンネリ化しないような遊具の見直しを年間の計画に盛り込み、定期的に行っていく。
- ・1歳児クラスと時間を決めて話し合い意見交換しながら、連携や協力をし合えるようにしていく。

### <1歳児>

- ・運動コーナーの内容がマンネリ化してしまったので、職員間で話し合い計画的に見直していく。
- ・手作り遊具が作れなかったので、年間で作成する時期や物を決めていきたい。
- ・0歳児クラスとの話し合いや反省の時間が持てなかったので、声を掛け合い話し合うようにしていく。
- ・アレルギーの誤食があった。対策について話し合い全職員で共有したので、手順を守りながら、一人一人の職員の危機管理意識を徹底していく。
- ・ケガ記録簿の記入漏れがあったので、毎日確認しクラス内でも互いに確認しあうようにしていく。
- ・保護者への伝達を上手く伝えられないことがあったので、話す内容を整理しながら丁寧に説明するようにしていく。

### <2歳児>

- ・テーマへの取り組みがリズム遊びに偏ってしまったので、事前に計画を立て進めていくべきだった。
- ・今年度初めて行った祖父母交流会への話し合いが不十分だったので、他のクラスと事前に打ち合わせをしておくべきだった。

### <3・4・5歳児>

- ・毎日の10分間反省が行えないことがあった。各遊びについての職員の代表が15時30分から16時までの間の10分間で話し合うようにしていく。
- ・各月の目標を確認し忘れてしまうことがあった。2月から確認する日をワークルームのホワイトボードに記入し、担当の職員に分かりやすいようにした。
- ・よさこいやスコープ三味線に今年度も取り組むことができ、夏祭りや根城祭りで披露する機会もあった。来年度も引き続き行いながら、園児がより興味を持てるようにしていきたい。

### <子育て支援・一時預かり>

- ・ふれあい広場やルーム開放の来園者と対面で話を聞きながら、来園者同士をつなげる存在になるよう心掛けた。
- ・リトル、ジュニアの年齢区分に当てはまらない時も希望に応じて参加できるようにした。今後も親子の希望にこたえながら子育ての支援を行っていきたい。
- ・一時預かりを利用する子どもも保護者も、安心して活動できるよう、信頼関係を築けるよう努めた。

### <給食>

- ・アレルギーの誤食があった。クラスに行ってから誤食につながらないよう、全職員で確認したので統一した対応を徹底していきたい。
- ・災害時の対応マニュアルをわかりやすく整備していきたい。(災害のレベルで変化する調理内容など)

令和8年 1月26日、30日に職員参加で実施した。  
令和8年 3月 26日 記録 : 若江真瞳花(主幹保育教諭)